

由良のとを 渡る舟人 かぢを絶え
ゆくへも知らぬ 恋の道かな

八重葎 しげれる宿の さびしきに
人こそ見えね 秋は来にけり

御垣守 衛士のたく火の 夜はもえ
昼は消えつつ 物をこそ思へ